

これまでの検討経緯

これまでの検討経緯

- 「新潟駅周辺交通結節機能強化基本方針」を踏まえ、国土交通省と新潟市が連携して、**令和2年3月**に「**新潟駅周辺整備（交通ターミナル）事業計画**」を策定。
- 令和2年5月**道路法改正**に伴い官民連携による事業推進の可能性が拡大。
- 「**にいがた2km**」の推進とともに、新潟駅南口広場の「将来あるべき姿」の具体化に向け、「新潟駅南口広場再編検討委員会」を設置。令和6年3月に「**南口広場（再編）整備コンセプト（案）**」が提示。
- 令和6年～7年に**マーケットサウンディング調査**を実施し、官民連携による事業推進の市場性を確認。
- 新潟市が令和8年2月上層部等空間の活用を含む「**仮称バスタ新潟の整備に望む事項**」をとりまとめた。

	新潟市のまちづくり	新潟駅交通ターミナル整備事業	検討事項
2019(令和1年)	・ 新潟駅交通結節機能強化検討委員会		
2020(令和2年)	⇒ 「新潟駅周辺交通結節機能強化基本方針」策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「新潟駅周辺広域交通事業計画検討会」設立 ・ 第2回 新潟駅周辺広域交通事業計画検討会 ⇒ 「新潟駅周辺整備(交通ターミナル)事業計画」策定 ・ 新潟駅交通ターミナル整備事業【事業化】 ・ 第3、4回 新潟駅周辺広域交通事業計画検討会 	道路法改正に伴う事業手法検討
2021(令和3年)	・ 都市再生緊急整備地域の指定 ⇒ 「新潟都心地域の目指す姿」	・ 第5、6回 新潟駅周辺広域交通事業計画検討会	市場調査
2022(令和4年)	・ 都心まちづくりの基本方針策定「にいがた2kmの覚醒」	・ 第7回 新潟駅周辺広域交通事業計画検討会	交通事業者ヒアリング
2023(令和5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「新潟駅・万代地区将来ビジョン」策定 ・ 「新潟市総合計画2030」策定 ・ 「にいがた2km 未来を語るシンポジウム」開催 ↳ 「新潟駅南口広場再編検討委員会」設立 		
2024(令和6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回 新潟駅南口広場再編検討委員会 ⇒ 「新潟駅南口広場(再編)整備コンセプト(案)」提示 	(検討会外部委員にMS調査の事前説明実施)	マーケットサウンディング調査
2025(令和7年)	・ 第3回 新潟駅南口広場再編検討委員会		
2026(令和8年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回 新潟駅南口広場再編検討委員会 ⇒ 「仮称バスタ新潟の整備に望む事項」提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第8回 新潟駅周辺広域交通事業計画検討会 ⇒ 「新潟駅周辺整備(交通ターミナル)事業計画」改定 	

※ 上記委員会第1回～4回の審議事項は次頁以降参照

※ 上記検討会第1回～7回の審議事項は次頁以降参照

(参考)第1～7回までの新潟駅周辺広域交通事業計画検討会

- 第2回検討会において、「新潟駅周辺整備事業計画」を策定
- 第3回検討会において、本事業に係る「今後の検討課題と対応方針」を報告
- 令和2年～3年に市場調査を実施し、第6回検討会において結果を報告

令和2年	<p><第1回> 令和2年3月4日(水) ※書面開催</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本会議の規約などについて・ 新潟駅周辺整備事業計画について <p><第2回> 令和2年3月25日(水) ※書面開催</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「新潟駅周辺整備事業計画」の策定 <p><第3回> 令和2年7月6日(月)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 新潟駅周辺整備事業計画について・ 今後の検討課題と対応方針、整備手法等について <p><第4回> 令和2年12月22日(火)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市場調査(WEBアンケート)の実施について・ 南口広場における未集約バスの整理について
令和3年	<p><第5回> 令和3年5月11日(火)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市場調査の中間報告について・ ヒアリング調査に向けて <p><第6回> 令和3年11月8日(月)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市場調査の結果報告について・ 市場調査を踏まえた追加調査について
令和4年	<p><第7回> 令和4年7月27日(水)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 追加調査の結果概要について・ 検討課題の対応状況について

(参考)第7回新潟駅周辺広域交通事業計画検討会で提示した課題と対応方針等について

今回検討会での対応箇所

第7回新潟駅周辺広域交通事業計画検討会での提示内容				主な意見	対応状況
	No	課題	対応方針		
中・長距離バスターミナル	①	駅周辺の防災拠点としての役割など、事業計画に基づく必要な施設の検討	必要規模の算定 (検討項目:敷地規模、バス配置、動線、付属施設など)	<ul style="list-style-type: none"> 運行実態の把握に用いるデータの信頼性を踏まえたバスの数の検討が必要 ピーク時の運行実態や施設周辺での混雑等も踏まえた施設計画の検討が必要 	→資料5「事業計画改定(案)」P22参照
周辺道路網	②	中・長距離バスターミナルと万代方面を円滑に結ぶ南北動線など、 新設道路の整備 及び 周辺交通への影響の検討	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な交通を確保するための道路網の検討 交差点での交通負荷の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ターミナルと万代シティバスセンターとの役割やバスルート等について検討が必要 南北動線やターミナルと隣接する道路だけでなく、周辺道路網も含めた交通への影響の検討や警察等との協議が必要 	→新潟駅西線の整備方針や中・長距離バスターミナルへのアクセス方法について検討予定
南口広場	③	高速乗合バス以外の 未集約バス(観光・貸切バス等)の存在	運行実態を把握し、 集約を検討	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性を踏まえた集約対象車両の指定や車両動線の検討が必要 バスターミナルの集約対象車両や観光・貸切バス等がターミナルを使用する際の使用料等の徴収方法について検討が必要 	→資料5「事業計画改定(案)」P22参照
	④	南口広場内の交通混雑 (一般車の送迎利用や駐車場利用の需要集中による混雑)	課題解消に向け、南口広場の 総合的な配置 を検討	<ul style="list-style-type: none"> 新潟駅南口広場周辺の改修にあたっては、開発動向も踏まえ、将来的な駐車場台数の検討が必要 自動車から公共交通への転換を促し、駐車場台数を削減する視点も検討が必要 	— (新潟駅南口広場再編検討委員会にて協議)
	⑤	南口広場周辺の 低未利用地(仮設駐輪場等)の存在			
交通結節機能	⑥	新幹線、鉄道、路線バス、タクシー等との駅周辺全体の 交通結節点としての機能強化	統一的なサイン、動線、 MaaS 等を用いて総合的に検討	—	<ul style="list-style-type: none"> →統一的なサインは、新潟駅南口広場再編検討委員会にて協議を踏まえて詳細検討予定 →動線は、事業者公募を通して事業者提案を踏まえて対応予定 →MaaSは、今後の施策展開や民間の動きを踏まえ対応予定
官民連携手法	⑦	民間活用 による効果的な開発及び維持管理の 検討	効果的な 官民連携手法 の検討及び当該計画における適用性の検討	<ul style="list-style-type: none"> 回遊性だけでなく、ターミナルへ立地する施設の種類や量、古町等の新潟市のまちづくりも含めて、整合性をとることが必要 PFI実績によらず参画できるようにすることが望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル整備・運営に係る官民連携の市場性を確認 →資料3「マーケットサウンディング調査結果報告」参照 (上層部等の導入機能は、新潟駅南口広場再編検討委員会にて協議)
道路空間再編	⑧	道路空間再編の検討	将来的な駅周辺の交通転換に伴い具体化	—	— (東大通道路空間再構築検討会議にて協議) 3

(参考)第7回新潟駅周辺広域交通事業計画検討会以降の取り組み

- 令和5年に新潟駅南口広場再編検討委員会を設置し、新潟駅南口広場の将来あるべき姿を検討開始
- 令和6年～7年に市場性を確認するマーケットサウンディング調査を実施

新潟駅南口広場再編検討委員会の実施

新潟駅南口広場の抱える課題を見直し、行政機関、交通事業者、民間団体等で構成する組織により、新潟駅南口広場の“将来あるべき姿”を具体化することを目的に検討委員会を設置

令和5年	<p><第1回> 令和5年11月27日(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設立趣旨・検討範囲について ・ 新潟駅周辺の位置づけについて ・ 新潟駅南口広場の課題について ・ 他都市の事例について ・ 今後のスケジュールについて
令和6年	<p><第2回> 令和6年3月12日(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の振り返り ・ 整備コンセプト(案)について ・ 調査企画について ・ 今後のスケジュールについて
令和7年	<p><第3回> 令和7年2月7日(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの振り返り ・ 新潟駅周辺の最新動向について ・ 各種調査結果の報告・課題整理について ・ 課題解決の方向性について ・ 今後のスケジュールについて
令和8年	<p><第4回> 令和8年2月6日(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロータリーの交通混雑解消に向けたソフト施策について ・ 仮称バスタ新潟上部空間等の活用について ・ 今後のスケジュールについて

マーケットサウンディング調査の実施

上層部等民間施設を含む中長距離バスターミナルの整備及び管理運営に関して、民間事業者から広く意見・提案を募集し、得られた知見を基に事業計画の見直しを行うことを目的に調査を実施

実施期間:	令和6年8月7日～令和7年12月
調査対象:	本事業に関心があり、主体的な事業実施が可能な事業者、団体等の法人
手 法:	WEBアンケート、意見書、個別対話
調査項目:	事業スキームに関する意見 バスターミナル及び上層部等への導入機能 事業への参画意欲 事業への意見

(参考)新潟駅南口広場再編検討委員会

- 南口広場においては、令和5年に「新潟駅南口広場再編検討委員会（新潟市）」が設立され、広場全体の再編についての検討が進められています。
- 南口広場再編の一端として、適切な機能誘導を図るため、新潟駅南口広場再編検討委員会の検討範囲として、（仮称）バスタ新潟（上部空間）が位置づけられました。

第1回新潟駅南口広場再編検討委員会資料より（一部抜粋）

設立趣旨

- 現在、日本海側の拠点にふさわしい都市機能強化のため、**鉄道在来線の高架化**をはじめ、駅南北を縦貫する交通結節拠点となる**新潟駅バスターミナル**や新たなにぎわいの空間を創出する**新潟駅万代広場**など、**駅南北市街地の一体化**に向けた新潟駅周辺整備が進捗しており、また新潟駅南口には**新潟駅南口西地区**の開発事業や駅周辺に点在する中・長距離バスなどを集約する（仮称）**バスタ新潟**の整備が控えているなど、新潟駅周辺におけるまちづくりは大きな**転換期**を迎えている。
- 平成21年度に供用（供用後約15年経過）した「**新潟駅南口広場**」において、現状抱える施設の課題を見直し、周辺環境の変化を見据えた再編を通じて、新潟駅南口広場の“将来あるべき姿”の具体化を図ることを目的に「**新潟駅南口広場再編検討委員会**」を設立。



(参考)新潟駅南口広場(再編)整備コンセプト(案)

○第2回新潟駅南口広場再編検討委員会では、南口広場再編コンセプト(案)が提示されており、ターミナル上部空間などを活用した滞留・賑わい空間の創出や、災害時にも柔軟に活用可能な空間の確保などの方針が示されています。

新潟駅南口広場(再編)整備コンセプト(案)

第2回新潟駅南口広場再編検討委員会資料より

上位計画

都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】

- 基本方針の3本の柱
- ・ 人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくり
 - ・ 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる新たな価値の創造
 - ・ 居心地がよく、市民が主役になるまちづくり (令和4年2月)



「新潟都心地域の目指す姿」

- 目指す姿の実現に向けた5つの視点
- ・ 開港都市・みなとまちとしての歴史・文化や多様な水辺空間を備える都市
 - ・ 緑と賑わいがあふれるウォーカブルな都市
 - ・ 国内外の企業に選ばれる拠点都市
 - ・ 様々な災害などに対応した防災機能を備える安心安全な都市
 - ・ スマートエネルギーの推進による次世代型の環境都市 (令和3年11月)

新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン

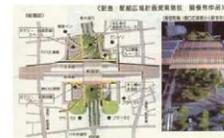
将来ビジョン：
新潟駅・万代地区周辺を新たな魅力・価値が創造される「人中心のまち」へつながる「2核・水辺・3モール」

- 将来ビジョンを実現するための5つの方針
- ・ 居心地がよく歩きたくなる空間を形成する
 - ・ まちなかの交通環境を整える
 - ・ 安心・安全で持続可能な都市環境を形成する
 - ・ エリア固有の資源を活かした魅力を再発見し磨く
 - ・ 官民連携でまち・人を育て発進する (令和5年3月)

新潟駅 駅舎・駅前広場 計画提案競技

駅前広場計画コンセプト：
人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

- ・ 分断されてきた南北市街地を結び、癒しや賑わいを創出する空間
- ・ 多くの人が交流し賑わいを形成するイベント広場
- ・ バリアフリーを考慮したペDESTリアンデッキ
- ・ 時間とともに成長・成熟していく広場



第1回新潟駅南口再編検討委員会 各エリアごとの課題

- ①タクシー・一般車乗降場・駐車場
 - ・ 一般車両とタクシーの錯綜
 - ・ 一般車、駐車場の交通混雑
 - ②仮設駐輪場
 - ・ 需要や利用のしやすさに配慮した駐輪施設の整備
 - ③西側連絡通路
 - ・ 仮称バスタ新潟開業を見据えた、維持管理体制の構築
 - ④一般バス乗降場
 - ・ 臨時バスの需要が集中した際の、待機車両の発生
 - ・ 平日等、需要が少ない際の、空間の有効活用
 - ⑤仮称バスタ新潟(上部空間)
 - ・ 仮称バスタ新潟(上部空間)の活用方法の検討
- その他
- ・ バリアフリー動線の整備や快適な空間の創出、各交通モード間のアクセシビリティ向上

県内外からの来訪客を受け入れ、広域交流の玄関口となる空間整備を進め、交流・賑わいを生み出す南口広場を目指します

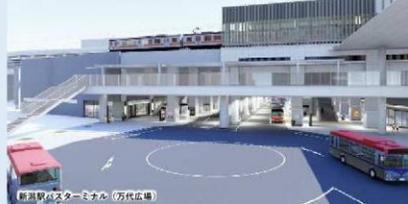
①交通ターミナルとしての機能強化

【課題①,④】

- 広域交通結節点の機能強化
- 公共交通のターミナルを中心に市内外とまちなかを結ぶ交通環境を整備
- 移動の円滑化に向け、MaaSや自動運転などの次世代技術の活用と公共交通を含めた多様な交通手段の強化
- 自動車交通混雑の緩和
- 特異日の交通混雑への対応

《整備イメージ》

- 新潟駅バスターミナルや仮称バスタ新潟の整備
- 一般車とタクシーの動線分離
- 一般車乗降場のスペースの拡大
- オープンスペースの一部をバス待ち空間や乗降スペースとして活用



●上位計画記載事項 ○検討会等での課題等 ■事務局案

②人を中心とした動線の確保

【課題②,③,その他】

- 安全で快適に楽しく移動できる環境づくり
- 都市形成と共に、回遊性の向上による居心地のよいウォーカブルな空間の形成
- 公共交通を補完する小型モビリティやレンタルサイクル、徒歩など多様な交通手段の活用による、都心部における回遊性の強化
- 鉄道駅から各交通モードへのアクセシビリティ向上

《整備イメージ》

- ペDESTリアンデッキなどの整備による歩行者ネットワークの形成
- 最新技術の活用により、多様な交通モードの選択を可能とするモビリティステーションの整備
- 駅改札から周辺施設まで利便性・回遊性の高い動線の整備
- アンブレラフリースペースを備えたデッキや上屋などによる快適な空間の整備



③にいがた2kmの玄関口にふさわしい空間の創出

【課題④,⑤】

- 多様な人が出会い、交流が生まれる居心地の良い空間を創出
- 駅南北やスタジアム等周辺エリアとつながりのある空間の形成
- 歩行空間や滞留空間を緑のネットワークとしても活かし、潤いある空間を形成
- 南口中央広場や歩行空間、仮称バスタ新潟上部空間などを滞留・賑わい空間として活用
- AIやビックデータ等の新たなテクノロジーを活用した情報発信

《整備イメージ》

- 広域交流の玄関口として、仮称バスタ新潟上部空間に周辺施設と一体となった滞留・滞在空間や、交流・高次の賑わいを創出する集客施設などを整備
- 災害時にも柔軟(リバーシブル)に活用できる空間・オープンスペースの確保
- 緑地などのオープンスペース、ベンチや植栽等の配置などによる快適な滞留・賑わい空間の確保
- リアルタイムな情報を発信するデジタルサイネージの充実



(参考) 仮称バスタ新潟の整備に望む事項

- 第4回新潟駅南口広場再編検討委員会での意見聴取を経て、新潟市が「仮称バスタ新潟の整備に望む事項」をとりまとめました。
- バスターミナル上部空間等の導入機能は、広域交流・賑わいの創出、平時・災害時の公益性への配慮、など、5項目を基本的な配慮事項としています。

市として「仮称バスタ新潟の整備」に望む事項

第4回新潟駅南口広場再編検討委員会資料より

1. 「**仮称バスタ新潟の整備**」は、バスターミナル機能単独ではなく、上部空間等の活用と現状の西側連絡通路機能を維持した施設として整備すること。
2. 「**上部空間等の活用**」は、南口広場を含めた広域交流の玄関口にふさわしい空間として活用すること。
3. 「**導入機能**」は、事業者公募段階において、本検討委員会で議論した内容や市の上位計画を踏まえつつ、事業者からの提案を「広域交流・賑わいの創出」や「平時・災害時の公益性への配慮」など下記5項目を基本とし、適切に反映、設定すること。

検討委員会で議論した内容

- 新潟駅南口広場（再編）整備コンセプト
 - ・交流・賑わい空間としての活用
 - ・災害時にも柔軟（リバーシブル）に活用できる空間
- 西側連絡通路の将来維持管理体制の構築
 - ・仮称バスタ新潟整備後の単独維持管理が困難
 - ・仮称バスタ新潟と一体施設としての整備が望まれている

新潟都心地域を対象とした市の上位計画

- 立地適正化計画（H29.3公表）
 - ↳都市機能誘導施設（重点エリア）
- 新潟都心地域都市再生緊急整備地域
地域整備方針（R3.9公表）
- 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン（R5.3公表）
 - ↳駅南ストリート

反映

仮称バスタ新潟整備イメージ



事業者公募における「導入機能」の基本的な配慮事項(案)

1. 広域交流・賑わいの創出

- 市民の憩いの場や観光交流人口増加など県内外の来訪者の利用に資する機能

2. 関連する市の上位計画を踏まえた機能

- 市のまちづくりに資する機能
例)立地適正化計画「都市機能誘導施設(重点エリア)」の機能

3. 平時・災害時の公益性の配慮

- 災害時にも柔軟(リバーシブル)に活用できる空間整備や機能

4. 西側連絡通路機能の維持

- 将来の維持管理を考慮した通路機能や空間整備

5. 周辺環境・施設への配慮

- 歩行者・バス・一般車等のネットワークや周辺施設への配慮
例)周辺道路の交通混雑への配慮、アンブレラフリーな歩行者動線

導入が認められない機能（施設）の例

- ・風通正化法に該当する施設
- ・暴力団不当行為防止法に該当する機能

※上記観点のほか、市の賑わいの創出等に資する機能は評価対象とする